

ウエルの
今を
深掘り!

WELL通信

24

[ウエル通信]

2025.1.WINTER



住宅型有料
老人ホーム
「エターナル緑地」

人生の最期に責任を持ち

最適な医療をコーディネート



厨 房 だ よ り 清 豊 苑

時には趣向を凝らした行事食を。クリスマス前には、お好きなトッピングを選べるハンバーガーを目の前で作って提供しました。



バレンタインデーにはようかんチョコレート。



日々のお食事は、ウエル清光会のブログでも紹介しています。ぜひご覧ください。

もは家庭的な定番のお食事を丹精込めて作
ることを大切にしています。

利用者が最も好まれるのはやはり、食べ慣れたお食事です。時には行事食で趣向を凝らしたメニューをご提供しながらも、いつもは家庭的な定番のお食事を丹精込めて作



ばら寿司やきつねうどんなど、定番のメニューを丁寧にお作りしています。

定番メニューを
丹精込めて

事業所
PICK
UP

小規模多機能型居宅介護 利倉清豊苑 大阪府豊中市利倉3-4-19 電話:06(6210)6585

■定員:29名

利用者様とご家族の希望によりそう 利倉清豊苑の小規模多機能型居宅介護

7~21時の幅広い利用時間

利倉清豊苑の小規模多機能型居宅介護は、通所サービスの利用時間を7時から21時まで幅広く設定しています。朝食や夕食をお召し上がりいただけるので、ご家族が早朝や夜間の対応が難しい場合にも安心してお任せいただけます。施設内には特別養護老人ホームやグループホーム、ショートステイを併設。ご自宅での生活が難しくなった時には入所サービスに変更し、慣れた環境で生活を続けることができます。一方で、病院から退院した後に小規模多機能型居宅介護をご利用いただき、体力を回復されて施設内のデイサービスに移られた方もいらっしゃいます。



ご本人の状態は常に変化するものです。その時その時の状態に応じて同じ施設内でサービスを使い分けること

で、できる限り負担を減らしながら、ご自宅での生活を長く続けていただきたいと思います。

生活意欲を上げるレクリエーション

当事業所では、全体のレクリエーションだけでなく、お一人お一人のご希望に合わせてきめ細やかにレクリエーションを企画しています。例えば、生活への意欲を向上させるために職員と2人でお買い物に出かけたり、食欲が落ちている方に対しては、いつもと雰囲気を変えて外食に出かけたりと、積極的に外の空気にも触れていただいています。

また、ゴスペルや和太鼓など、感染症拡大で一時ストップしていた地域ボランティアの方々によるイベントも再開しています。最近では、地域の中学校から吹奏楽部の生徒さんに来所いただき、演奏会を開催しました。お孫さんの姿を見るように、柔らかい表情で演奏を楽しんでおられる姿が印象的でした。



柔軟な対応でご家族の負担を軽減

在宅生活を支え続けるには、ご家族との信頼関係が何より大切です。電話では連絡事項を報告するだけでなくしっかりと対話することを重視しているため、話すうちに相談に発展することも少なくありません。ご家族からは「話しやすく、本人の様子がよく分かる」と喜んでいただいています。介護士の視点から見ると、「自宅で過ごしたい」と望む利用者様の多くは、身体的にもまだまだお元気な方が多いと感じます。そのような利用者様に対して、ご本人やご家族が望むかぎり在宅生活を維持できるよう支援することが私たちの使命。日々のご利用はもちろん、夜中の突然の転倒への対応や当日の急な変更にも柔軟に対応し、在宅生活維持とご家族の介護負担軽減のために職員一同が全力で支えます。



ウエルグループ

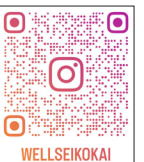
豊中市

- 清豊苑 [特]
- 利倉清豊苑 [地/テ/グ/小/定]
- 美豊苑 [特/ケ]
- 刀根山美豊苑 [地/テ]
- 輝豊苑 [テ/グ]
- ウエルケアプラセンター [ケ]

- ウエリスト [小/テ]
- 社会福祉法人香聖会 宙(すばる)豊中 [地/グ/小]
- 庵とよなか庄本 [有]
- ケアプラセンター美豊苑本町 [ケ]
- エターナル緑地 [有]

宝塚市

- 宝塚清光苑 [特/テ/グ/小/ケ/定]
- 芦屋市
- 陽光苑 [地/テ/グ]
- 西宮市
- バセム西宮 [有]
- ケアプラセンター西宮清光苑 [ケ]



[特]特別養護老人ホーム [地]地域密着型特別養護老人ホーム [テ]デイサービス [グ]グループホーム [小]小規模多機能型居宅介護施設 [ケ]ケアプラセンター [有]有料老人ホーム [定]定期巡回サービス

STAFF VOICE

看護師が中心となり、健康維持をサポート

訪問看護も含め介護サービスをトータルで提供する住宅型有料老人ホームは多数ありますが、入所の際に医療面でのケアが途切れてしまうという課題がありました。また、在宅生活を続けられている方の中には、介護サービスを受けることを拒否され、最低限の生活の維持も難しくなっている方がいらっしゃいます。こうしたさまざまな困難事例にも目を向け、地域の方々に求められる施設を創らなければ、という使命感から生まれたのが「エターナル緑地」です。

住宅型有料老人ホームで充実した医療を提供するには、優れた在宅医や施設内および訪問看護師、介護士との連携が欠かせません。エターナル緑地は、信頼できる複数の在宅医と、経験豊富な看護師・介護士とが連携することでこれを実現しました。

健康でいられる時間は、受ける医療の質に大きく左右されます。私たちは、人生の最期をお預かりすることに責任を持ち、利用者様がどう過ごしたいのか、どのように人生を締め括りたいかを考え、またご家族が後悔のないように気持ちによりそいます。施設内および訪問看護師が中心となって、利用者様の健康を第一に考えた理想の看護・医療体制を目指しています。



看護統括 渡部昌子



看護師 井濱美由紀



住宅型有料老人ホーム エターナル緑地
〒561-0811 大阪府豊中市若竹町2-5-8
06-6151-3282
居室数:30(うち2人部屋2室)、定員33名
北大阪急行電鉄緑地公園駅から徒歩13分



エターナル緑地の利用事例



CASE:01 「分食+観察」への対応

消化器官に障害があり分食の必要があった利用者様。特別養護老人ホームでは分食に対応できないため、エターナル緑地への入居を決められました。入居後は施設内看護師と在宅医とが連携しながら、食量や栄養を細かく評価して食事内容を調整。現在は、5回の分食に加え看護師による医療的な観察によって、いざという時には迅速に対応できる体制を整え、安心してお過ごしいただいています。

CASE:02 退院し、理想の看取りを実現

容態が悪化し、病院に入院されていた利用者様。余命わずかと診断されていましたが、病院の規則で、ご家族との面談は短時間かつ少人数に制限されていました。ご本人もお話ができない状態でしたが、ご家族が「孫やひ孫、みんなに会わせたい」と強く希望され、エターナル緑地に入居されました。その後、医師の予想を超えてお話ができるまでに改善され、笑顔も見られるように。ご家族も毎日のように面会に来られ、ご希望通りの最期を迎えられました。ご家族も「会える人みんなに会えて本当によかった」と喜んでおられました。

CASE:03 困難事例にも対応

法人内の訪問系サービスを利用されていましたが、心身の状態が悪化。サービスを拒否され、ゴミを自宅にためこむなど、さまざまな面で地域からお困りや心配の声が聞かれていたことから、訪問系サービスの介護士と連携してエターナル緑地への入所を実現。入所後は状態が落ち着き、表情も和らぎました。今後は法人内で連携し、ご本人のご希望や経済状況に合わせて、特別養護老人ホームの利用や在宅生活の立て直しなど、健康維持に最適な生活の場をコーディネートする仲介拠点としての役割を果たしていきます。

人生の最期に責任を持ち 最適な医療をコーディネート。

住宅型有料老人ホーム「エターナル緑地」



ウエルの今を深掘り!



在宅医の指示のもと、施設看護師と訪問看護師、介護士が連携し、24時間体制で利用者様一人おひとりに最適なケアを提供します。

2024年にオープンした住宅型有料老人ホーム「エターナル緑地」は、「医療特化型」の有料老人ホームです。施設に常駐する看護師が中心となって充実した医療的ケアを提供しています。
施設看護師による
利用制限のない看護
エターナル緑地では、午前9時から午後6時まで施設看護師が常駐し、それ以外の時間は訪問看護師が待機しています。施設看護師が提供するケアは利用制限がなく、回数や時間を気にすることなく自由に受けていただくことが可能です。一般的な住宅型



有料老人ホームの場合は、訪問介護や訪問看護などのサービスを利用しながら、足りない部分はご家族の介護で対応されますが、当ホームでは介護士と看護師がそれらを引き受け、連携して24時間体制のケアを提供します。例えば、お食事から30分後に誤嚥がないかを確認して必要であれば吸引を行うなど、時間のかかるケアにも対応。利用者様のニーズに応じた医療的ケアを、点数を気にすることなく受けていただくことができます。
常駐している看護師は、救急や精神科などで経験を積んだベテランです。在宅医と連携して、点滴や輸血をはじめ幅広い医療行為を施設内で提供でき、急変時にもスムーズな対応が可能。手厚い医療・看

護体制があるため、心疾患や脳血管疾患などハイリスクな病気を抱えた方や終末期の方も、入院することなくご自宅で過ごすような快適な環境で安心して過ごしていただけます。病院のような安心感がありながら面会制限もなく、ご家族が宿泊しての付き添いも自由です。
多職種との連携で
最適な医療をマッチング



施設専属のクリニックを持つのではなく、心疾患やターミナルケアなど各分野に専門性を有する複数のクリニックとネットワークを構築し、利用者様お一人おひとりに合った医療体制をコーディネートできる点も大きな特徴です。
施設内および訪問看護師やケアマネジャー、サーム担当責任者、施設長など多職種で話し合いながら利用者様の状態を事前に評価した上で、ご本人の性格やご家族のご要望までふまえた最適な生活環境を提供します。また、すでにかかりつけのクリニックがある利用者様はそのまま継続していただくことができ、入居後も医療・看護の体制を大きく変える必要がありません。
施設内看護師は、病気に関する知識があることに加え、常時、利用者様との関わりがあるため、ケアマネジャーに対しても密な情報共有ができます。日々の心身状態を医療的観点から判断した上で、最期の時をどう迎えたいか、ご本人の希望について多職種の方々と相談し、納得いただける看取りを目指しています。